



広報 —ご家族皆さんでご覧ください—

ふたば

がんばろう!双葉

1

災害版No.8・新年号
2012



表紙写真：迎春 希望に向かって

平成24年1月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課

希望の見える年に

双葉町長 井戸川 克 隆

平成24年の年頭にあたり、謹んでごあ
いさつを申し上げます。

東日本大震災並びに原子力発電所の事
故から帰宅できる見通しが示されないま
ま、新しい年を迎えるに至りました。そ
して、町民の皆さまが生活不安と健康不
安から一時も逃れられない日々を送られ
ている苦難の重さを思うとき、「なぜこ
のような事故が起きたのか」「どうすれ
ば復興できるのか」と、行政を預かる者
としての試練を痛感しているところであ
ります。

双葉町は、「早期健全化団体」から脱
却するため、町民の皆さまの深いご理解
とご支援のもと、昨年は財政的にも明る
い見通しがつき、今までにないほどの良
い年を迎えることができるることを町民の
皆さまとお約束してまいりました。しかし
、その矢先の3月11日、マグニチュード九・〇の地震と大津波に襲われ、多く
の人たちが犠牲となり、さらに安全・安
心と言われていた原子力発電所の水素爆
発は、放射能汚染というかたちで私たち
を震撼させ続けています。

このような苦境の中で、避難生活を支
えていただきました川俣町、そして埼玉
県や加須市をはじめ、多くの皆さんに心
から感謝申し上げる次第であります。

さて、復興、再生を考えるとき、避難
とに戻る環境はますます厳しい状況とな
ります。まして原発事故による放射線が
心配される中、農業を復活させるのは並
大抵ではありません。このような状況か
ら考へても復興・再生は双葉町だけ対
応できるものではありません。国家の威
信をかけたプロジェクトとして取り組む
べきものであると考えます。そして、何
よりも復興・再生の条件は、個人と自治
体への東京電力の完全賠償が前提にあり
ます。

双葉町では、町民の皆さまに被害に相
当する損害賠償が請求できるよう、弁護
団を結成いたしました。今後、請求にあ
たり、全面的に支援してまいりますので、
被害との因果関係の立証に困難を感じて
損害賠償を諦めることのないようお願ひ
ります。

双葉町では、町民の皆さまに被害に相
当する損害賠償が請求できるよう、弁護
団を結成いたしました。今後、請求にあ
たり、全面的に支援してまいりますので、
被害との因果関係の立証に困難を感じて
損害賠償を諦めることのないようお願ひ
ります。

古きをたずね、伝統と未来を
みつめて躍進するまちをつく
りましょう。

創造性を豊かにして、個性あ
る薫り高い文化のまちをつく
りましょう。

元気で働き、若さのみなぎる
楽しく明るいまちをつくりま
しょう。

(昭和五十六年三月十一日制定)

わたくしたちは、古い歴史と、
文教の地としての誇り高いまち
に育まってきた町民です。
ここに手をとり合い、より豊
かな住みよいまちを築くために、
この町民憲章を定めます。



町民憲章



教育長
江尻 邦夫



副町長
井上 一芳



糾 一 き さ ず な 一

双葉町議会議長 佐々木 清一

議長 佐々木 清一

議会を代表しまして謹んで新年のごあ
いさつを申し上げます。

昨年の11月、双葉町議会議員選挙によ
り私たち8名は、町民の皆さまの負託に
答えるべき議員として拝命を受けました。
少数精銳、議員一丸となつてしつかりと
取組みをさせていただくことをお約束さ
せていただきます。

さて、東日本大震災の津波により家屋
を流され亡くなられた方々、また、避難
先で亡くなられた方々に衷心より哀悼の
意を申し上げます。3月11日の東日本大
震災は、想定を超えるものでした。しかし
地震だけではなく、翌日には東京電力
(株)福島第一原子力発電所の事故が発生し
てしましました。

私たちは、何の説明もないまま避難指
示により、着のみ着のままで小雪がぱら
つく中、避難を余儀なくされました。本
当にあつてはならないことが起きました
のです。あの日から9ヶ月、いまだに
ふるさとに帰ることはできません。現在
も県内をはじめ41都道府県に町民の皆さ
まが避難され苦しい生活をしています。
今、寒さの一一番厳しい時です。仮設住
宅での寒さと不便さ、借り上げ住宅の孤
独感・親類宅に身を寄せている人、家族
が別々に暮らすさましさ、津波により家

族を失った方々、そんな気持ちを察する
と本当に心が痛みます。

特に、子どもを持つ保護者の皆さんに
は、放射能に対する不安とともに、子ど
もの将来の不安、町民一人ひとりが、こ
のよう精神的苦痛の中で避難生活をし
ております。

私たちが何か悪いことをやったのか納
得がいきません。不満が募るだけです。
これまで、東京電力と町は、安全安心を
前提に一体となつて共存共栄をはかつて
きました。事故発生以来、東京電力は手
のひらを返したような気がしてなりません。

今、ここに新しい年を迎えております。

私たちは被害者であり加害者は国と東京
電力です。国と東京電力は私たち町民の
要求に誠実に応えてほしい。応えるべき
です。私たちは将来像を描くこともでき
ません。

私たち8人の議員は、国、東京電力に
対して補償、賠償をはじめ、すべての町
民が将来に向けて希望の光を見いだせる
までしつかりと取り組みます。

町民の皆さまには大変なご苦労を与え
ておりますが、今はお互いに励まし合
いを取り合いがんばっていきましょう。



副議長	伊澤史朗
議員	清川泰弘
議員	菅野博紀
議員	高萩文孝
議員	岩本人久
議員	白岩寿夫
議員	羽山君子



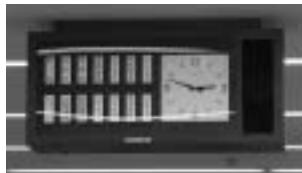
双葉町議会

観測史上最大 M9・0の巨大地震発生

東日本大震災――3月11日からを振り返る――



3月11日、双葉中学校の卒業式。たくさんの思い出を胸に卒業生が先生方や友達と別れた2時間後の午後2時46分、福島県沖を震源地としたマグニチュード9.0の東日本大震災が発生しました。



▲地震発生の時刻で止まってしまった役場庁舎内の時計



激しく長い揺れが双葉町を襲いました。揺れが収まり、外に出ると周りの景色は一変。町内各地で建物や塀が倒壊し、道路の亀裂やマンホールが突き出ていました。その後まもなく大津波が海岸近くの地区を襲いました。そして断水、停電さらには東京電力福島第一原子力発電所の事故と想像もつかない事態が次々と起こりました。





▲双葉厚生病院の入院患者を避難させる職員と自衛隊員



3月12日早朝、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所から10km圏内に避難指示が発令され、全町民が双葉町を離れることとなりました。そして午後3時36分、1号機が水素爆発を起こす事態になりました。



▲川俣町内の8カ所の施設へ避難



▲安否確認の掲示板



►さいたまスーパーアリーナで役場業務を再開

3月14日には3号機が水素爆発を起こし、3月19日に川俣町からさいたまスーパーアリーナへ移動。さらに3月31日には埼玉県加須市にある旧騎西高校へ移動しました。



▲たくさんの人々に見送られて加須市旧騎西高校へ移動

4月21日、双葉町は警戒区域となり、自由に立ち入ることができなくなりました。

～こんな 双葉町 に住みたい～



鈴木 連くん
(現在:いわき市立平第五小学校)

ぼくは、みんなが楽しく遊べる町に住みたいです。毎日みんなと勉強したり、外で遊んだり、絵をかいたりしたいです。今は学校も近くて友達もできただけど、きれいな海や川のある双葉町にやつぱり住みたいです。



廣田 愛乃さん
(現在:蒲郡市立塩津小学校)

私は、緑がいっぱい優しい人がいっぱいいる双葉町がいいです。畑には、おいしい野菜がいっぱいなついていて、田んぼには緑のジュウタンのように稻がいっぱい植えられていて、山には大きな木やきれいなお花が咲いているそんな緑がいっぱいの双葉町が大好きです。道で会うとあまり知らない人でも必ず頭を下げてあい



羽根田 賢信くん
(現在:郡山市立桜小学校)

ぼくは、地震が起こらない双葉町に住みたいのです。自転車で遊べる双葉町に住みたいのです。おじいちゃんと散歩ができる双葉町に住みたいです。隼人くんとせんべいを食べながらおばちゃんごっここのできる双葉町に住みたいです。まるで遊人くんと遊びたいです。



志賀 歩美さん
(現在:会津美里町立高田小学校)

私は「どんな双葉町に住みたい」と聞かれたらすぐに「震災が起きる前に戻りたい」と言います。

今のは、東日本大震災の影響や東京電力から出ているセシウムなどの放射線の影響で、とても住める環境や状態ではないからです。こうなつてしまつた以前の双

でも、大好きな幼稚園のお友達や先生がいる双葉町が一番いいです。私が今がんばっているのは、双葉町で過ごした時のたくさんの良い思い出があるからです。

双葉町に帰りたいです。



舞木 優さん
(現在:佐野市立犬伏小学校)

葉町に住みたいです。いつもどおりに朝起きて、家を出て双葉南小学校へ行き、仲の良い友達と勉強をして遊ぶ、そういう双葉町に戻ればいいなと思っていますが、放射能が落ちかない限りそれを目指すのは無理だと思います。でも、私は、放射能が落ち着きなんとか帰れるようになつたら、双葉町に戻り、震災の影響で壊れてしまった物を直したりしてまた双葉町の住民が住める双葉町にしたいと思います。

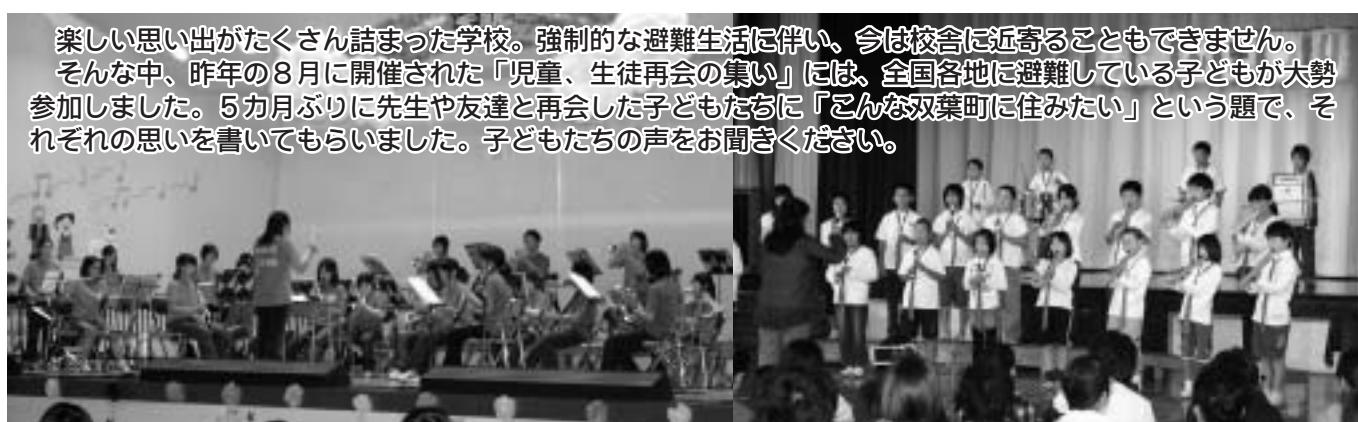
私はこの震災が起きて家族のありがたさやあたりまえのものだということがわかりました。私はいつかきっと双葉町に帰れる日が来ると信じています。



▶おいしかった学校給食
(北小学校)



◀双葉ばら園見学
(ふたば幼稚園)



◀せんだんまつり（南小学校）

楽しい思い出がたくさん詰まった学校。強制的な避難生活に伴い、今は校舎に近寄ることもできません。そんな中、昨年の8月に開催された「児童、生徒再会の集い」には、全国各地に避難している子どもが大勢参加しました。5ヵ月ぶりに先生や友達と再会した子どもたちに「こんな双葉町に住みたい」という題で、それぞれの思いを書いてもらいました。子どもたちの声をお聞きください。

私が理想とする双葉町は、まず安心して暮らせる町であることです。事件、事故が起きないようにもっと工夫して改善していくべきちゃんと防ぐことができると思います。

また、町民みんなが仲良くて、笑顔の絶えない町であることです。笑顔になれることです。

双中2年
井戸川みなみさん
(現在:会津若松市立第二中学校)

ぼくたちは今回の震災でたくさんのものを失いました。津波の被害だけでなく、ぼくたちの双葉町にある福島第一原発の事故により大きな災害となってしまい、自分たちの家やかけがえのないぼくたちの双葉町が失われました。

ぼくたちは再び双葉町に暮らせるのは20年、30年、

るのではなくなつたら電気が足

るのは事件や事故がないからこそだと思うので、安心、安全な町にすることと笑顔の絶えない町にするすることはつながっていると思います。でも一番理想とする双葉町は、当たり前のことが当たり前にできることに感謝しています。緑に囲まれた学校で、早くみんなと勉強がしたいです。一緒に部活動がしたいです。友達と毎日のように会えるのがどれだけ幸せだったのか震災を通して改めて感じました。私はいつ

か双葉町に戻れる信じています。友達とも自由に会えず、時々思い出して胸が苦しくなることもあります。しかし私は、今の学校の友達と勉強や部活動に励み、目の前にあることをやり遂げようと思います。またみんなに会える、双中に戻れる、そう信じてこれからも頑張っていきたいです。

私は、双葉町が大好きです。そして双葉町に住んでいる人も大好きです。私が今、願うことは、以前のように双葉の友達と笑って学校に通いたいということです。一刻も早く復興できることを祈っています。

双中3年
渡辺 崇博くん
(現在:船橋市立行田中学校)

それ以上と聞きます。双葉町に帰れるまでにはたくさん時間が必要です。だからぼくは新しい場所に「新双葉町」をつくってほしいです。もちろん簡単にではありません。もちろん簡単にはできないはずはないけれど、双葉町民全員で世界の人々の力も借りてつくつていけたらしいと思います。

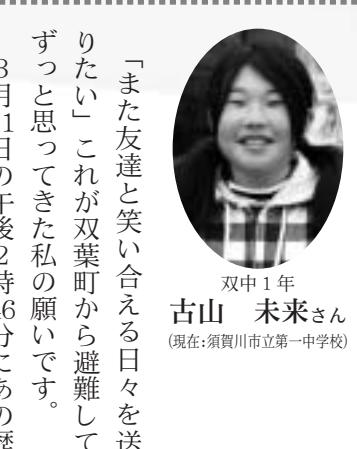
一番問題の原子力発電所を双葉町に置くかどうかはぼくにとって難しくてわからりません。でも原子力発電所がなくなつたら電気が足

ることができると思います。自分たちの力だけでなく、世界中の人々の知恵と力を合わせれば双葉町だけではなく、日本全体を復興させることができます。力の技術を向上させてほしいと思います。

自分たちの力だけでなく、世界中の人々の知恵と力を合わせれば双葉町だけではなく、日本全体を復興させることができます。力の技術を向上させてほしいと思います。

自分たちの力だけでなく、世界中の人々の知恵と力を合わせれば双葉町だけではなく、日本全体を復興させることができます。力の技術を向上させてほしいと思います。

自分たちの力だけでなく、世界中の人々の知恵と力を合わせれば双葉町だけではなく、日本全体を復興させることができます。力の技術を向上させてほしいと思います。

双中1年
古山 未来さん
(現在:須賀川市立第一中学校)

「また友達と笑い合える日々を送りたい」これが双葉町から避難してずっと思ってきた私の願いです。3月11日の午後2時46分にあの歴史的大地震が私たちを襲いました。そして、原発事故による避難命令により、私たちはそれからずっと避難生活を続けています。私はいつも「双葉の友達と会えたらしいのに」と考えていました。そして、「今までのようになんかで通える学校があれば」とも思いました。だから私は、みんなで通える学校をつくってもらえたたらと思います。またみんなで笑いながら楽しく学校へ通いたいので、新しく学校をつくってもらえたたらとてもうれしいです。

私は、双葉町が大好きです。そして双葉町に住んでいる人も大好きです。私が今、願うことは、以前のように双葉の友達と笑って学校に通いたいということです。一刻も早く復興できることを祈っています。

たくさんの支援をいたしました



▲友好町の京都府京丹波町から義援金、支援物資
(畠中源一副町長が川俣町の災害対策本部へ)

双葉町を応援してくれているたくさんの方々から義援金や支援物資などが届けられています。大人から子どもまで、日本全国から海外の方まで支援の輪が広がっています。その中の一部をご紹介いたします。



▲東京都中央区泰明小学校5年2組から千羽鶴のリースと
メッセージ (さいたまスーパーアリーナ)



▲大宮開成高校の皆さんから義援金と千羽鶴 (旧騎西高校)



▲狭山商工会議所から復興への願いが書かれた手作りの
七夕飾り (旧騎西高校)



▲双葉町出身のシンガーソングライター
えりのあさんから義援金、
支援物資と
コンサート



▲浪江町出身の民謡歌手原田直之
さんの所属するロータリークラブ
から義援金とコンサート



▲双葉町出身のフラガール
横山実香さんが慰问
大森梨江



▲台湾 高雄道德院から義援金



▲西アフリカトーゴ共和国 大統領からTシャツと義援金

海外からも



▶インド
ケミカル日本の会から
メッセージと義援金



▶フィンランド
サンタクロース。
子どもたちにお菓子のプレゼント



▶格闘家
ボブサップ選手

著名な方々も



▶横綱
白鵬関



▶タレント
さかなクン



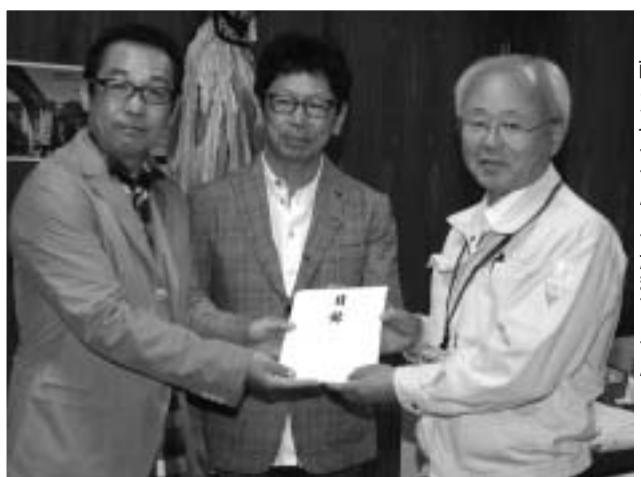
▶狂言師
和泉元彌さん

ここに掲載した他にも多くの皆さまから心温まるお言葉やたくさんの義援金をいただいています。町に寄せられた義援金は、東日本大震災義援金双葉町配分委員会で協議をして決定後、町民の皆さんに配分されています。

▶ミュージシャン
南こうせつさん、さだまさしさん



▶俳優
西田敏行さん



双葉町に寄せられた義援金

12月1日現在で、双葉町に約4億3千万円の義援金が寄せられました。

そのうち、7月に約2億9千万円（一人当たり4万円）、12月に約1億1千万円（一人当たり1万5千円）が配分されました。

皆さまの温かいご支援、誠にありがとうございます。

＜義援金の配分＞

- | | |
|------------------|--------------|
| ・ 4月…国・県義援金〈第一次〉 | (世帯当たり40万円) |
| ・ 7月…町義援金〈第一次〉 | (一人当たり4万円) |
| ・ 8月…国・県義援金〈第二次〉 | (一人当たり25万円) |
| ・ 10月…国義援金〈追加〉 | (一人当たり5万2千円) |
| ・ 12月…町義援金〈第二次〉 | (一人当たり1万5千円) |
| ・ 隨時…新生児義援金 | (一人当たり25万円) |

双葉町立小中学校児童生徒の避難先一覧

12/1現在 ※福島県内201名、県外316名（転出者は除く）

【北海道・東北(18)】

- ・ 北海道(1)・青森(1)
- ・ 山形(9)・宮城(7)

【会津管内・北会津・耶麻(32)】

- ・ 猪苗代町(18)・会津若松市(13)
- ・ 喜多方市(1)

【北陸・甲信越(49)】

- ・ 新潟(38)・富山(9)
- ・ 石川(1)・山梨(1)

【会津管内・両沼(4)】

- ・ 会津坂下町(3)
- ・ 会津美里町(1)

【南会津管内(3)】

- ・ 南会津町(3)

【関東以南(15)】

- ・ 静岡(4)・愛知(3)
- ・ 大阪(1)・島根(4)
- ・ 大分(2)・鹿児島(1)

【関東(102)】

- ※埼玉県を除く
- ・ 茨城(30)・群馬(5)・栃木(13)
- ・ 千葉(11)・東京(20)・神奈川(23)

【県北管内・安達(5)】

- ・ 二本松市(1)・本宮市(4)

【相双管内・相馬(6)】

- ・ 相馬市(1)・南相馬市(5)

【県中管内・郡山・岩瀬・石川・田村(44)】

- ・ 郡山市(28)・須賀川市(8)・田村市(3)
- ・ 三春町(3)・小野町(2)

【県南管内・西白河・東白川(26)】

- ・ 白河市(12)・矢吹町(2)・西郷村(4)
- ・ 棚倉町(5)・塙町(3)

【いわき管内(61)】

- ・ いわき市(61)

【埼玉県(131)】

- ・ 加須市(111)
- （騎西小学校59・騎西中学校52）
- ・ 加須市を除く市町村(20)

双葉町3歳～5歳児の避難先一覧

12/1現在 ※福島県内60名、県外119名（転出者は除く）

【北海道・東北(7)】

- ・ 青森(2)・秋田(1)
- ・ 山形(1)・宮城(3)

【会津管内・北会津・耶麻(3)】

- ・ 猪苗代町(1)・会津若松市(2)

【北陸(13)】

- ・ 新潟(12)・石川(1)

【会津管内・両沼(4)】

- ・ 会津坂下町(2)
- ・ 会津美里町(2)

【関東以南(7)】

- ・ 静岡(1)・岐阜(1)
- ・ 愛媛(2)・奈良(1)
- ・ 大阪(1)・島根(1)

【関東(51)】

- ※埼玉県を除く
- ・ 茨城(12)・群馬(3)・栃木(7)・千葉(5)
- ・ 東京(16)・神奈川(8)

【県北管内・福島(5)】

- ・ 福島市(4)・伊達市(1)

【相双管内・相馬(3)】

- ・ 新地町(2)・相馬市(1)

【県中管内・郡山・岩瀬・石川・田村(10)】

- ・ 郡山市(5)・石川町(1)・田村市(2)
- ・ 三春町(1)・小野町(1)

【県南管内・西白河・東白川(10)】

- ・ 白河市(6)・西郷村(1)・棚倉町(1)
- ・ 塙町(2)

【いわき管内(25)】

- ・ いわき市(25)

【埼玉県(40)】

- ・ 加須市騎西中央幼稚園(15)

(第5回「双葉に輝く人あり」は平成23年3月に取材をし、広報ふたば4月号に掲載を予定していたものです)



▲いつも笑顔の中心に

町婦人会218人の会員の長として会をまとめ、「魅力ある婦人会、地域に優しい暮らしの実践」をスローガンに、町の女性団体のリーダーとして活躍している中村富美子さんは、町食生活改善推進員協議会会长として食を通じた地域の健康づくり活動も行っています。

女性の力は未知数だといわれる現在、いつも笑顔を絶やさず、パワーあふれる中村さんに活動状況やパワーの源についてお伺いしました。

● 流山踊りが会員のきずなに

22年度の町婦人会活動で印象に残った活動についてお伺いすると、7月に行われた相馬野馬追祭で、大熊町婦人会と合同で南相馬市の雲雀ヶ原で流山踊りを披露したことをあげられました。連日の暑さの中で練習を重ね、当日は陣傘、陣羽織姿で40人の会員が一つになつて踊つたことは会員同士のきずながより深まつたと話す中村さん。会員

双葉町には、仕事、趣味、スポーツ、ボランティア、芸術文化などの活動に生き生きと輝いている人がたくさんいます。広報ふたばでは、そんなそれぞれの活動に懸命に頑張っている姿や楽しんでいる笑顔などを紹介していきます。

第5回

双葉に輝く あり



なかむらとみこ
中村富美子さん
(中田地区 69歳)

町の女性団体のリーダーとして双葉町婦人会長や双葉町食生活改善推進員協議会会长などにわたり、震災復活させ、相馬山踊りを披露されています。

の皆さんからは、「中村会長の絶対に成功させたい」という熱い思いが伝わり、若い人の参加も多かったという声が聞かれました。また、ダルマ市の恒例となつている婦人会の食堂は、今年もたくさんのお客さんに来ていました。たくさんのお客様に来ていただき、会員の皆さんとのチームワークと手際の良さでスマーズに終了したそうです。

● 選品コンテストで優秀賞

町食生活改善推進員協議会は、推進員が31人、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、食生活の改善方法や健康を考えた毎日の食事について、地域の方々の相談にのつたり、調理方法などを教えたり、子どもたちへの教育活動などを行っています。

昨年11月に行われた第一回双葉町逸品コンテストでは、応募総数102点(53人、14団体)の中から、同協議会が子どもたちの野菜嫌いをなくそうと一年間の試行錯誤を経て完成させたトマトジャム、かぼちゃクリーム、人参ジャム、さつま芋クリーム、枝豆ジャムが加工品部門で、「野菜を活かした丁寧な加工が先生方の満場一致で優秀賞を受賞しました。

● 笑顔がパワーの源に

会長職は、さまざまな会議も出席しなければならず、多忙な日々を送っている中村さんですが、ほとんど病気をしたことがないとか。健康の秘訣をお伺いすると、「食事をきちんと摂り、規則正しい生活を心がけ、食べて笑って楽しく生活すること」と話され、食事を作る時に手抜きをしないことを心がけているそうです。

また、2年前から公民館で月2回行われている氣功教室に通つてリフレッシュしているとのことでした。そしてなんといつても家族の支えが中村さんを笑顔にし、パワーの源になつていていました。中村さんの笑顔がまたたく間に引き出される優しい味」と審査員の言葉を元気にしていました。

▲町食生活改善推進員協議会の皆さんと



ご成人おめでとうございます



▲成人式実行委員会の皆さん

成人を迎えて

成人式実行委員長 伊澤 慶昭
副実行委員長 福田 成美

昨年は東日本大震災や原子力発電所事故の影響もあり、不安がたくさんありましたが、私たちが無事に成人を迎えたこと、非常にうれしく思います。

双葉町を離れ、もうすぐ一年が経とうとしていますが、私たちが落ち着いていられるのは、家族をはじめ、地域の方々の支え

があつたからこそと思っています。また、震災を受け、地域外の方々からの支えもあり、改めて私たちは支えられていたことを痛感しました。

成人を迎えた私たちは、今まで支えられる側の人間でしたが、これからは支える側の人間となります。困っている人を手助けするのはもちろん、今までお世話になった全ての方々への感謝を忘れず、いつの日か本当の恩返しができる時を目指し、がんばります。

一 成人式 一

・とき 平成24年1月8日(日)
・ところ 郡山ビューホテルアネックス
午後1時30分～

平成24年 成人者名簿

男 子 38人

名 前	地区名	名 前	地区名	名 前	地区名	名 前	地区名
阿 部 圭 太	長塚一	井 上 勇 貴	下 条	佐 藤 修 平	鴻 草	廣 田 一 希	渋 川
荒 知 也	新 山	飯屋崎 邦 浩	長塚二	高 倉 茂 尚	新 山	藤 田 修 平	長塚一
池 田 大 晃	下 条	大 住 智 之	羽 鳥	高 野 有 崇	羽 鳥	松 本 達 也	鴻 草
伊 澤 慶 昭	三 字	岡 田 祐 太	三 字	富 沢 貴 大	山 田	森 藤 恭 平	新 山
石 澤 拓 也	郡 山	奥 義 人	下 条	中 川 湧 斗	長塚一	谷 津 田 淳 之	三 字
石 田 良	長塚二	小 野 明 博	下 条	成 田 裕 栄	新 山	米 倉 卓 未	新 山
伊 藤 拓 也	下 条	樺 村 泰 樹	浜 野	西 山 大 貴	羽 鳥	渡 邁 丈 瑠	郡 山
伊 藤 雅 明	新 山	加 藤 大 輔	山 田	根 本 卓 実	長塚二	渡 邁 勇 人	中 田
井 戸 川 貴 章	長塚一	栗 田 侑 季	長塚一	半 谷 和 也	三 字		
井 戸 川 悠 樹	中 田	佐 藤 修	新 山	半 谷 伸 吾	三 字		

女 子 47人

名 前	地区名	名 前	地区名	名 前	地区名	名 前	地区名
伊 澤 奏 絵	三 字	久 米 田 胡 桃	両 竹	只 野 碧	新 山	樋 渡 麻 衣	長塚一
泉 山 友里恵	長塚一	近 藤 夏 美	三 字	館 林 真珠美	細 谷	福 田 成 美	下長塚
稻 田 千 春	長塚一	紺 野 あす香	長塚一	田 中 沙 樹	長塚二	堀 内 歩 美	下 条
稻 本 咲 綺	長塚一	齋 藤 厚 子	長塚二	田 村 亮 子	下 条	堀 内 舞	郡 山
植 田 のぞみ	長塚一	齊 藤 彩 佳	長塚一	永 井 亜里沙	郡 山	前 田 芽	羽 鳥
上 野 理 菜	下 条	佐 藤 博 子	新 山	長 嶋 紋 未	長塚一	松 田 奈 々	長塚一
及 川 美 咲	長塚一	志 賀 百合香	三 字	中 野 彩 乃	新 山	松 本 紗奈江	新 山
大 谷 美 晴	羽 鳥	清 水 華 子	三 字	那 須 玲 香	三 字	松 本 有加里	長塚一
岡 田 由 香 里	山 田	白 石 茉希子	寺 松	新 田 真 衣	新 山	柳 沼 千 尋	長塚一
小 川 真 琴	三 字	鈴 木 里奈子	鴻 草	根 本 千 里	寺 松	山 田 照 美	山 田
小野田 悅 子	新 山	高 野 友 美	三 字	根 本 菜々穂	下 条	渡 邁 佳 織	下 条
熊 野 みすず	三 字	高 橋 沙也加	三 字	三 瓶 未 来	浪江町		

■ 双葉町在宅ねたきり高齢者等介護顕彰のお知らせ ■

- 介護保険法による要介護状態区分が要介護4または5に該当する高齢者を介護している介護者であること。
- 介護者とは、重度の要介護高齢者と同居し生計を共にする者で、当該重度の要介護高齢者を主に介護する方です。
- 報償金は、平成24年1月1日現在、次の各号に掲げる要件の全てに該当する高齢者を介護した方に支給します。

- (1)双葉町に住民登録をしている65歳以上の高齢者
 - (2)平成24年1月1日からさかのぼって過去1年の間に6ヶ月間以上要介護状態区分が要介護4又は要介護5であると認定されている高齢者
 - (3)平成24年1月1日からさかのぼって過去1年の間に、特別養護老人ホーム、老人保健施設等及び病院へ3カ月以上、入所又は入院していない高齢者
- ※報償金の支給額は3万円です。

双葉町では、在宅において重度の要介護高齢者を介護する家庭に報償金を贈り、その介護者の慰労と顕彰を行うことにより、高齢者福祉の増進を図ることを目的としまして、「在宅ねたきり高齢者等介護顕彰事業」を行なっております。次の方に該当する場合は、係まで連絡をお願いします。

【問い合わせ先】健康福祉課 福祉介護係
☎ 0480-173-7687

— 国民年金は、生きている限り受け取れる終身補償です —

20歳になつたら

国民年金



国民年金は、国が運営する公的年金制度です。20歳になつたときには、日本国内に住所を有するすべての方が加入します。保険料を納付して、年金を受け取ることは、義務であります。権利となっています。

国民年金は終身保険なので、受給開始から生涯にわたり老齢基礎年金を受け取ることができます。現在20歳の方も平均的に長生きすれば、納付した保険料額以上の年金を受け取ることができる仕組みです。将来給付される基礎年金は、皆さんのが納める保険料と国からも、保険料の未納期間があります。

もし、保険料が受け取れなかった場合、保険料ばかりではなく、年金に充てられる税金も負担しているのに、そのメリットを何も受けられることになってしまいます。

なお、老齢基礎年金を受け取るためには、原則として保険料の納付済期間等が25年以上必要です。また、満額の老齢基礎年金を受け取るためには40年の保険料納付済期間が必要です（年金の種類は、老齢年金のほか、障害年金、遺族年金があり、受け取るためには要件があります）。※保険料の納付が困難な場合のため、申請により保険料の免除制度があります。詳しくは、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

・ 健康福祉課 国保年金係
☎ 0480-173-7835
・ 平年金事務所
☎ 0246-123-5611
または、お近くの年金事務所まで

平成24年度 予備自衛官補募集案内

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり予備自衛官補を募集します。

募集項目	予備自衛官補（一般）	予備自衛官補（技能）
応募資格 (平成24年7月1日現在)	18歳以上34歳未満の方	18歳以上で保有する技能に応じ 53歳～55歳未満の方
募集人員	約100人	約20人
受付期間	平成24年1月11日(水)～4月4日(水)	
試験期日	第1回：平成24年4月13日(金)、14日(土)、15日(日)、16日(月) 第2回：平成24年10月12日(金)、13日(土)、14日(日)、15日(月)	※いずれか1日を指定されます。
受験会場	郡山駐屯地（受付時にお知らせします）	
合格発表	第1回：平成24年5月18日(金) 第2回：平成24年11月16日(金)	

※技能応募に必要な資格や受験案内の配付及び試験に関する内容は、地域事務所にお問い合わせください。

[問い合わせ先] 自衛隊福島地方協力本部 相双地域事務所 ☎・FAX 0244-23-4712

平成23年度 双葉町任意予防接種費用助成事業



◎小児インフルエンザ予防接種費用の助成について

今年度に限り、「公益財団法人日本ユニセフ協会」の支援を受け、接種費用の一部を助成いたします。

対象者	生後6か月～中学3年生	
助成額	2,000円/1回 (差額分は自己負担となります)	
助成回数	生後6か月～13歳未満…2回 13歳以上～中学3年生…1回	
接種期間	平成23年10月1日～平成24年1月31日 (この期間に接種したものが助成の対象となります)	
接種方法 ・ 接種費用 について	福島県内で接種する方	①医療機関に予約し、接種してください。 ②医療機関で、助成額(2,000円/回)を引いた差額分をお支払ください。
	福島県外で接種する方	①医療機関に予約し、接種してください。 ②接種費用は全額お支払ください。 ③後日指定の口座に助成額分(2,000円/回)を助成しますので、「助成申請書」で町に申請してください。
備考	・予診票は医療機関備え付けのものをお使い下さい。	

◎高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の助成について

今年度に限り、「日本赤十字社」の支援を受け、接種費用の助成を行います。

対象者	平成24年3月31日までに70歳以上になる方 (ただし、過去5年以内に接種している方は対象となりません)	
助成額	8,000円 (差額分は自己負担となります)	
助成回数	1回	
接種期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日 (この期間に接種したものが助成の対象となります)	
接種方法 ・ 接種費用 について	福島県内で接種する方	医療機関に予約し、接種してください。 接種費用は、無料となります。
	福島県外で接種する方	①医療機関に予約し、接種してください。 ②接種費用は全額お支払ください。 ③後日指定の口座に助成額分(8,000円)を助成しますので、「助成申請書」で町に申請してください。
備考	・予診票は医療機関備え付けのものをお使い下さい。	

※「助成申請書」は、町のホームページからダウンロードするか、郵送も可能ですので、ご連絡下さい。

◆詳しくは、双葉町埼玉支所健康福祉課健康づくり係（☎0480-73-6899）までお問い合わせ下さい。

健康被害の備えのために毛髪の保存を…

原発事故による放射能の影響のため将来への健康不安は計りしえません。

福島市内にある美容、理容店では、希望する客の毛髪をビニール袋に入れ2年間保存するという取組みを行っています。頭髪に放射性物質が含まれて残るため「毛髪が被ばく証拠となる」という学説も出ています。健康被害を受けた場合に備え、髪の毛を切った際に少しだけビニール袋に取って保存しておくことをお勧めします。



仮設住宅への入居者募集(継続)

1. 募集物件

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	1K	8戸	飯坂町平野字内小原田8-1
	2K	31戸	
	3K	20戸	
	計	59戸	
郡山市	1K	5戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4
	2K	23戸	
	3K	4戸	
	計	32戸	
白河市	1K	12戸	日和田町高倉字諏訪前82
	2K	57戸	
	3K	42戸	
	計	111戸	
いわき市	1K	13戸	郭内151
	2K	40戸	
	3K	23戸	
	計	76戸	
	1DK	14戸	南台3丁目1-1
	2DK	56戸	
	3K	12戸	
	計	82戸	

(12月15日現在)

2. 募集締切 当分の間受付をします。

窓口受付時間：午前9時～午後5時まで

3. 応募方法

双葉町仮設住宅入居申請（抽選申込）書に必要事項を記入の上、双葉町役場へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

4. 入居時期 入居決定次第順次入居可能

5. 入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長2年間

6. その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、規定数に達した場合は、受け付け終了となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※エアコン、ガスコンロ、テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、ポットは備えてあります。

※電気、水道、ガス料金、食費などの必要経費は入居者の負担となります。

[問い合わせ先] 福島支所 ☎024-973-8090

仮設住宅を花いっぱいに…

仮設住宅に住む人が花で笑顔になってもらおうと福島市佐原で酪農業を営む佐々木健三様からチューリップの球根を、(株)コメリ様からパンジーの苗約270本、プランター63個、土、肥料をいただきました。

11月18日、福島市さくら仮設住宅集会所前において、コメリ社員の指導のもと、仮設住宅の住民の皆さんがプランターに花植え作業を行いました。久しぶりの土いじりに住民のみなさんの笑顔が広がりました。



仮設住宅集会所一覧

名 称	住 所	名 称	住 宅
福島北幹線 第二応急仮設住宅集会所	〒960-0231 福島市飯坂町平野字内小原田8-1	白河市郭内 第一応急仮設住宅談話室	〒961-0074 白河市郭内151-41
福島市 さくら応急仮設住宅談話室	〒960-2101 福島市さくら一丁目10-1	白河市郭内 第二応急仮設住宅集会所	〒961-0074 白河市郭内151-29
郡山市喜久田町 早稲原応急仮設住宅集会所	〒963-0534 郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54番地4	会津若松市第二中学校 西応急仮設住宅	〒965-0803 会津若松市城前1-91
郡山市日和田町 高倉応急仮設住宅談話室	〒963-0534 郡山市日和田町字高倉字諏訪前82	猪苗代町上川原 応急仮設住宅談話室	〒969-2663 猪苗代町大字川桁字上川原2209-1
郡山市富田町 若宮前応急仮設住宅集会所	〒963-8041 郡山市富田町字町田11	いわき市南台 応急仮設住宅集会場	〒974-8242 いわき市南台3丁目1-1

ぼくの夢・わたしの夢

(広報ふたば平成23年4月号に掲載を予定していた作文です)



▲3月8日撮影



▶現在の啓くん

双葉南小学校6年 渡部 啓くん
(現在:千葉県我孫子中学校1年)

ぼくの将来の夢はJAXA(宇宙航空研究開発機構)で働くことです。JAXAとは、ロケットや国際宇宙ステーションの開発など、宇宙に関係ある仕事をしています。将来、宇宙で活動できるようになることが目的です。

ここで働くためには、理科や算数のほかに英語もがんばらなくてはなりません。ぼくが宇宙関係の仕事をしたいと思った理由は、父がこの仕事に就いているからです。話を聞いてみると、とてもおもしろく興味がわいてきました。

宇宙の仕事には、人工衛星の管理やロケットの仕事、管理などがあります。ぼくは、人工衛星の管理や利用をしたいです。人気のある仕事で、とても大変ですが、がんばって勉強して、将来はJAXAで働きたいです。

国内外の皆さんから千羽鶴や絵手紙、激励のお言葉などをたくさんいただいています



双葉町では、町民の皆さまの**所在の把握**を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

○総合受付 コールセンター 0120-455-770

連絡先

埼玉支所

〒347-0105

埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内

☎ 0480-73-6880 FAX 0480-73-6926

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>

ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>



▲2月24日撮影。心結ちゃんは現在2歳4ヶ月になり、いわき市にお住まいです。



▲3月10日撮影。美利優ちゃんは現在2歳8ヶ月になり、埼玉県久喜市にお住まいです。

新家
しんか

心結ちゃん(1歳6ヶ月)と
お母さんの久美子さん(長塚二)

仁田美利優ちゃん(2歳)と
お母さんの忍さん(三字)